

6/21 芦沢哲哉さん・遠藤昌子さんが受章

社会教育振興への貢献が高く評価 静岡県社会教育委員連絡協議会表彰状を授与

社会教育委員として長年活動された芦沢哲哉さん（奥泉区）と遠藤昌子さん（寺馬区）が、静岡県社会教育委員連絡協議会表彰を受賞しました。

今年の3月31日で退任することになった両名は、10年以上にわたり、青少年の健全育成をはじめ、社会教育の振興に尽力してきました。そのような功績が高く評価され、今回の受賞に至りました。

エコティかわねで多くの社会教育事業に携わった芦沢さんは「他市町の委員と研修を重ね、多くの刺激をもらいながら、勉強することができた」と笑顔で長年の活動を振り返りました。



山下教育長から表彰を受けた芦沢さん(右)と遠藤さん(中)

これからのまちづくりをともに考える 6/27

「千年の学校」の公開講座として「町長と語る会」を開催



事前申し込みのあった町民 18 名が参加

来年度からの5年間の計画期間となる町の第2次総合計画後期計画について、計画策定に向けて町長と町民が意見交換を行う「町長と語る会」が、山村開発センターにて開催されました。

参加者からは「人口減少への対策をどう講じるか」「子育て環境をもっと整備してほしい」などの発言があり、これからのまちづくりに向けた課題を議論しました。コーディネーターを務めた静岡文芸大学の黒田宏治教授は「町民参画の機会を増やし、町が一丸となって取り組むべき課題を浮き彫りにしていくことが大切」と話しました。

6/30 豊富な品種のブルーベリーを食べ比べ♪

令和3年度むつみ学級でブルーベリー狩り&スイーツ作りを開催

今年度、全5回の開催が予定されている「むつみ学級」(町社会教育課主催)が開講しました。

第1回目のこの日、町内の女性22名が参加し、上田農園(八木地区)でブルーベリーの収穫を体験しました。参加者は園主の上田まり子さんから収穫方法を聞きながら、新鮮で熟したブルーベリーを摘み取ると、「種類によって甘み、酸味が違って面白い」や「小粒でも味がしっかりしてる」などと笑顔で頬張っていました。

その後、参加者はカフェうえまるに移動し、収穫したばかりのブルーベリーを使って、パフェ作りに挑戦しました。



参加者は、熟した果実を見極め、摘み取っていました

7/2 さらに品質向上を目指して

「川根茶」の味や香りなどの出来栄を審査する茶品評会が開催

町が主催する茶品評会が農林業センターで開催され、今年は町内生産者から、手摘みの部に6点、機械摘みの部に8点、合わせて14点の出品がありました。

審査は、農研機構金谷茶業研究拠点の水上裕造上級研究員を審査長とする審査員5人によって、全国茶品評会審査基準に準じて厳正に行われました。

水上さんは「今年のお茶は、山間地特有の良品が出そろった。香りや味は間違いなく優品。このようなお茶を安定生産できれば、銘茶産地『川根』を維持できる」と講評しました。

品評会後の意見交換会では、出品者と審査員で今年度の出品茶の傾向や、次年度に向けた製茶技術向上のための議論が活発に交わされました。



(上) お茶の香りを厳正に審査 (中左) 茶葉の外観を見比べる (下) 次年度の摘採・製造に向けた意見交換会

【茶品評会結果】

● 手摘みの部

- 優等：相藤 令治さん(相藤園)
- 1等：相藤 佐枝子さん(相藤園)
- 2等：相藤 直紀さん(相藤農園)

● 機械摘みの部

- 優等：丹野 浩之さん(丹野園)
- 1等：小平 史郎さん(小平園)
- 2等：高木 郷美さん(satomi製茶)

市町対抗駅伝大会に向けた「第1歩」！ 7/5

第22回しずおか市町対抗駅伝競走大会に向けて練習が始まりました



初めて練習に参加した児童 大会目指して頑張ろう！

12月4日に開催される市町対抗駅伝競走大会に向けて、今年も駅伝チームが始動しました。練習初日のこの日は、子供16人と大人3人が参加し、動的ストレッチなど軽めのトレーニングで汗を流しました。

今年から初めて参加する子供たちは、緊張しながらも「少しでも速く走れる様になりたい」と宣言。駅伝スタッフから身体の動かし方や呼吸方法を学んでいました。駅伝実行委員会委員長の前田修児さんは「駅伝を通して学べることはたくさんある。かけがえのない時間を一緒に過ごす仲間を、大切にしてほしい」と呼び掛けました。